



2021年11月10日

各位

会社名 株式会社近鉄エクスプレス
代表者名 代表取締役 社長執行役員 鳥居 伸年
(コード番号 9375 東証第一部)
問合せ先
上席執行役員 コーポレート・ファイナンス&アカウンティング部長
笠松 宏行
TEL: (03) 6863-6445

連結業績予想及び期末配当予想の修正ならびに剰余金の配当(増配)に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月12日に公表しました2022年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正するとともに、2021年11月10日開催の取締役会において、剰余金の配当(中間配当)を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期 通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月12日発表)	630,000	31,700	30,700	19,200	267円06銭
今回修正予想(B)	880,000	50,000	51,000	33,000	459円00銭
増減額(B) - (A)	250,000	18,300	20,300	13,800	-
増減率(%)	39.7	57.7	66.1	71.9	-
(ご参考) 前期実績	609,110	34,177	34,529	21,644	301円06銭
(ご参考) 前期比増減率(%)	44.5	46.3	47.7	52.5	-

(2) 連結業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)におきましては、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた世界経済の回復に伴う旺盛な輸送需要と、前期より続く航空・海上貨物輸送スペースの供給不足を背景とした運賃原価及び販売価格の上昇により、営業収入、営業利益の増加基調が継続しました。下期につきましては、新型コロナウイルスの感染状況、半導体不足等による製造業への影響、サプライチェーンの混乱等により、世界景気の動向の先行きが不透明な状況ではありますが、当社グループの事業においては上期の事業環境が一定程度継続するものと想定しております。

このような状況を踏まえ、2022年3月期の通期業績予想を再度精査し、上記のとおり修正いたしました。

2. 剰余金の配当及び期末配当予想について

(1) 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月12日公表)	前期実績 (2021年3月期中間配当)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	40円00銭	20円00銭	10円00銭
配当金総額	2,879百万円	—	719百万円
効力発生日	2021年12月10日	—	2020年12月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2021年5月12日発表)	円 銭 20.00	円 銭 30.00	円 銭 50.00
今回修正予想	—	60.00	100.00
当期実績	40.00	—	—
(ご参考) 前期実績(2021年3月期)	10.00	40.00	50.00

(3) 配当予想修正の理由

当社グループは、株主の皆様への適切な利益還元を重要な政策として位置づけ、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるとともに、各期の業績等を総合的に考慮し、安定的かつ継続的な配当の維持に努めることを基本方針としております。

「1. 連結業績予想の修正」に記載のとおり、当期の業績が前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、当期の中間配当につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、前回予想から20円増配し、1株当たり40円とすることといたしました。さらに期末配当予想につきましては、今後の事業展開等を勘案し株主還元の一環として、前回予想から30円増配し1株当たり60円に修正いたします。これにより、年間配当予想は前期から50円増配の1株当たり100円となります。

なお、期末配当につきましては、2022年6月開催予定の定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施されます。

※上記の予想は、公表時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

以 上